

# 総務文教常任委員会 所管事務調査資料

(令和 7 年 4 月 2 2 日)

(事務調査)

- ① 厚真町アイヌ施策推進地域計画について

生涯学習課社会教育グループ



## 1 アイヌ施策推進地域計画とは

### (1) 根拠法

アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（平成31年4月施行）。※略称「アイヌ施策推進法」

#### 第一条 抜粋

##### (目的)

アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図り、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とする。

##### (方法)

民族共生象徴空間構成施設の管理

市町村によるアイヌ施策推進地域計画の作成

内閣総理大臣による認定

アイヌ施策推進地域計画に基づく事業に対する特別の措置（交付金等）

### (2) 地域計画とは

#### ①概略

所管機関：内閣府大臣官房アイヌ施策推進室

計画認定者：内閣総理大臣

作成機関：自治体（市町村）

計画期間：5か年1期 第1回認定（令和元年）～14自治体  
第2期認定可能

構成：アイヌ文化の保存又は継承に資する事業

アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業

観光の振興その他の産業の振興に資する事業

地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業

上記の4項目に従って施策推進のための事業計画を策定し、認定を受けた後、交付金申請を行う。

全国の認定状況（令和7年4月1日）

令和7年4月1日 41件（うち第2期認定26件）

新規認定状況

- ・令和元年度：14自治体（道内13・道外1）
- ・令和2年度：17自治体（道内）
- ・令和3年度：2自治体
- ・令和4年度：2自治体

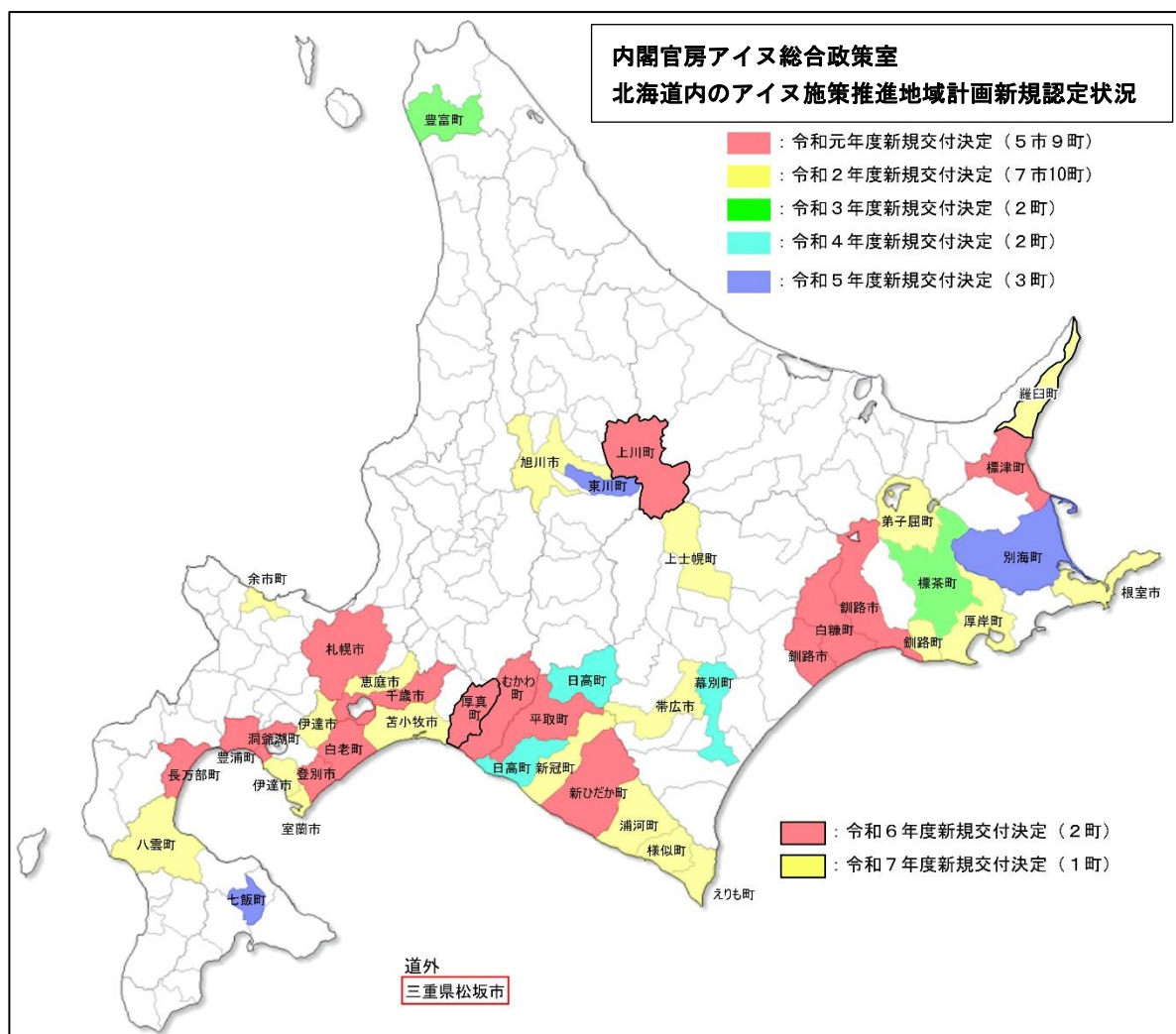
- ・令和5年度：3自治体
- ・令和6年度：2自治体（厚真町認定）
- ・令和7年度：1自治体

#### 国の予算状況

- ・令和7年度：10億円
- ・令和8年度以降：20億円
- ※ 前年度繰越加算あり。

#### 国の補助率等

- ・国8割
- ・自治体2割（うち50%を特別交付税措置）



アイヌ施策推進地域計画の新規認定状況

## 2 厚真町アイヌ施策推進地域計画の概要（資料1）

### （1）厚真町の目的

厚真町のアイヌ文化財、先住民族アイヌの人々の歴史は、全国的にも注目されているものの、町民には、その価値等についてほとんど知られていないのが現状となっている。また、令和10年供用開始の文化交流施設における（仮称）アイヌ歴史文化センターに関しても、国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）や平取町立二風谷アイヌ文化博物館にはない厚真町の独自性をもった展示公開施設の整備を目指していく上で、町民のさらなる理解が求められる。

これらの現状、課題を解決すべく、さらなる活用を進めすべての厚真町民にとって地域の財産となり、全国の先住民族アイヌの人々にとって誇りの源泉となる活用を進める。このなかでは、農業を基幹産業とする厚真町の開拓の歴史との調和のもと、未来への多様性豊かな地域社会や民族共生社会の構築に向けて寄与していくことを目的としている。

### （2）現状と課題

#### 【厚真町内の全てのアイヌ文化資源】

#### ① アイヌ語地名

100カ所以上（松浦武四郎の記録）

#### ② 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）と出土品

遺跡157カ所（桜丘チャシ跡・厚和1遺跡・上厚真遺跡・富里2遺跡・幌内7遺跡など）

出土品（文化庁全国巡回展出品資料・高校教科書掲載資料など）

#### ③ ご遺骨の取り扱い

ご遺骨の地域返還（令和3年9月）と遺骨安置室の整備（令和2年）

毎年開催のカムイノミ・イチャルパ（毎年10月第1日曜日）

#### ④ アイヌ民族の伝承地

#### ⑤ アイヌ民族の日常生活ルートや交易ルート

#### ⑥ 生活館3館

#### 【課題と解決への取り組み】

#### ① 令和10年供用開始予定の仮称アイヌ歴史文化センターの設置

数多くのアイヌ文化資源を町民・道民・国民・世界を視野に民族共生社会の構築に向けて、情報発信や普及活用などに取り組む

### （3）目標（目標数値KPI）：令和10年度（最終年度）の目標数値

#### ① カムイノミ参加者数：150人

#### ② 軽舞事務所来館者数：のべ1,500人／年間

#### ③ 画像提供・講話等外部依頼件数：20件／年間

- ④ 厚真町アイヌ文化HPアクセス数：のべ10,000件／年間
- ⑤ (仮称)アイヌ歴史文化センター来館者数：4,300人(11月開館見込)
- ⑥ 先進地見学会町民参加者数：100人
- ⑦ 桜丘チャシ跡・アイヌ文化講演会等参加者数：のべ200人

#### (4) 事業スケジュール

##### ① 文化振興事業

令和6年度：4事業(レプリカ製作・伝統儀礼祭具購入・HP作成など)  
 令和7年度：7事業(伝統工芸人材育成・ガイド育成・アニメ制作など)  
 令和8年度：5事業(ガイド育成・町民向け理解促進・HP更新など)  
 令和9年度：5事業(歴史文化センター整備・ガイド育成・HP更新など)  
 令和10年度：5事業(歴史文化センター整備・ガイド育成など)

##### ② 地域・産業振興事業

令和6年度：1事業(桜丘チャシ跡及び進入路整備)  
 令和7年度：1事業(桜丘チャシ跡測量及び看板製作)  
 令和8年度：1事業(文化講演会)  
 令和9年度：1事業(文化講演会)  
 令和10年度：1事業(文化講演会)

#### (5) 計画事業費

令和6年度： 11,072千円  
 令和7年度： 23,860千円  
 令和8年度： 43,635千円  
 令和9年度：124,820千円  
 令和10年度：65,632千円  
 合 計：269,019千円

財源内訳：交付金補助 215,215千円  
 特別交付税 26,902千円  
 町一般財源 26,902千円

### 3 令和6年度事業実績(資料2)

実施事業数 8事業(検討委員会・委託・備品購入等)  
 事業費合計額 11,072千円  
 うち交付金補助額 8,857千円  
 うち特別交付税措置 1,107千円



検討委員会開催状況（公開活用確認）



レプリカ作製の道内最古の和鏡



カムイノミ実施状況（厚幌ダム）



購入した伝統儀式祭具一式



桜丘チャシ跡の壕（空堀）



桜丘チャシ跡進入路整備状況

#### 4 令和7年度事業（資料3）

計画事業数	16事業（検討委員会・講演会・見学会・委託・備品購入等）
事業費合計額	23,859千円
うち交付金補助額	19,087千円
うち特別交付税措置	2,386千円



## 5 今後の方向性と目指すところ

### (1) 事業の拡大

(仮称)アイヌ歴史文化センター開設に向けて町民の理解促進や開設後の運営を見据えて、各種周知普及活用事業や資料整備など令和6年度と7年度を比較して、事業件数、事業費が約倍増している。

### (2) 体制強化

令和7年度から地域おこし協力隊・文化財等活用促進支援員1名を委嘱予定で、令和6年度から公募を進めている。協力隊には、広く厚真町の文化財全般に関する知識・情報蓄積のうえ、町内外への情報発信、学校教育や観光協会などの外部組織との連携などを進めたい。

### (3) (仮称)アイヌ歴史文化センター

厚真町アイヌ政策推進地域計画に基づく交付金を活用し、展示ケースや展示するジオラマ、映像展示に関する準備を令和7年度から着手している。令和9年度・10年度を中心に適切な環境のもと、展示公開環境を集中的に整備する計画となっている。